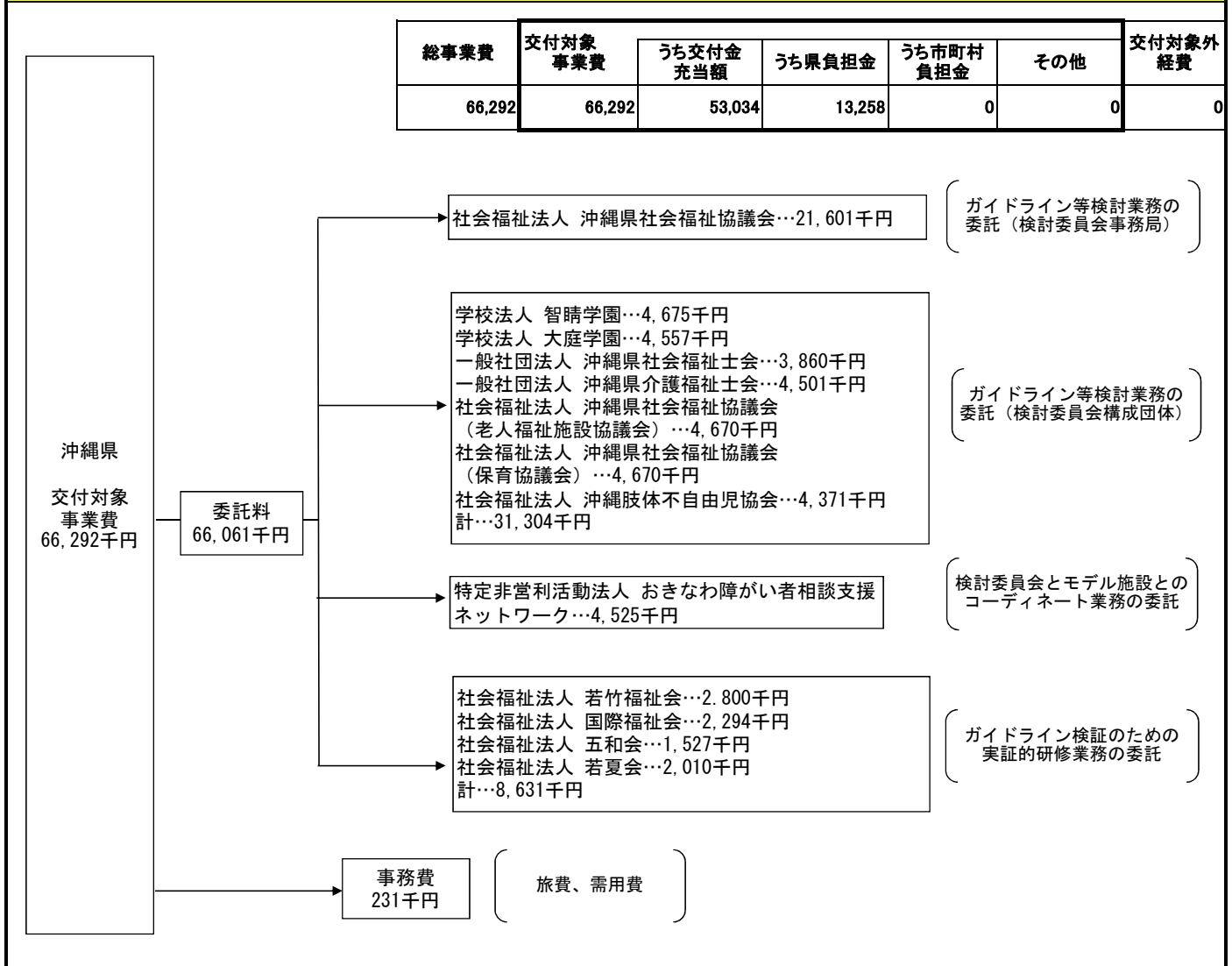


平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	35	福祉・介護人材育成基盤整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(6)-ア			
担当部署名	子ども生活福祉部 福祉政策課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民生活を支える人材の育成 Ⅲ-4		
事業内容	資質の高い福祉・介護人材の継続的な確保を図るため、人材育成ガイドラインの作成等を行うとともに、各圏域ごとに、人材育成コーディネーターの配置や、モデル施設を選定した人材育成の取組みなどを実践し、地域完結型の人材育成・確保の体制を構築する。 平成25年度は、本県における人材育成の指針を示すガイドラインと事業所が従事者のキャリアアップを段階的に図るための標準となるカリキュラムを作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	74,795	—	72,730		
		(b) 予算現額	74,795	—	72,730		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	74,795	—	72,730		
	B. 執行済額		58,533	—	66,292		
		うち交付金充当額	46,827	—	53,034		
		C. 次年度繰越額	0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)	78.3%	—	91.1%			
予算の状況の説明	・予算額は、事務費(旅費、需用費)と委託料を計上しており、平成24年度に比べ2,065千円の減となっているのは、賃金及び使用料・賃借料が平成24年度限りであることによる。 ・不用額(6,438千円)の主な不用理由としては、委託料における受託団体の旅費等の節減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	①地域完結型体制構築に向けた実証 ○モデル事業 コーディネーターを配置し、モデル施設と連携しながら人材育成体制を整備 ○モデル施設 ガイドライン(1次案)に基づくカリキュラムの実証(5施設)	目標	5施設	5施設			
		実績	5施設	4施設			
	②検討委員会の開催 ・モデル事業に基づくカリキュラム等の改善検討 ・人材育成体制構築に向けた各種検討(ガイドライン、スキルの認証方法等)	目標	ガイドライン(1次案)等策定	ガイドライン(2次案)等策定			
実績		ガイドライン(1次案)等策定	ガイドライン(2次案)等策定				
達成状況説明	①について ・ガイドライン等の策定にあたり、人材育成の取組みを行う施設(4施設)において実証的にモデル事業を実施し、その結果をガイドライン等に反映させた。 ②について ・ガイドライン2次案を策定し、目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(26年度)	
	地域社会を支える人材(介護・福祉)の継続的な育成(ガイドライン2次案の策定)	目標		ガイドライン(1次案)等策定	ガイドライン(2次案)等策定		ガイドライン策定
		実績		ガイドライン(1次案)等策定	ガイドライン(2次案)等策定		ガイドライン策定
		目標					
		実績					
進捗状況説明	平成25年度はガイドライン(2次案)等の策定を目標としていたが、予定どおり達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証 ・人材育成の取組みについて、ガイドライン・カリキュラム検証の研修等を行うモデル施設数の目標を5施設としていたが、予定していた事業所のうち1施設は、別業務の都合により委託できなかったため、モデル施設数の実績は4施設となった。しかし、ガイドラインに基づくカリキュラムの項目についてまんべんなく研修が行われており、「達成」と考えている。 ・ガイドライン等策定後の活用について、具体的な方策を検討していく必要がある。	・平成27年度に策定するとしていたガイドライン、カリキュラム等について、活用の効果を早期に発現させるため、平成26年度で策定することとする。
今後の取り組み方針	
平成26年度 共通カリキュラム(案)に基づくモデル研修の実施及びモデル研修を踏まえての共通カリキュラム(案)の再検討、特定サービスカリキュラム(案)の検討、ガイドラインの策定	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業の委託先とは随意契約により委託契約を締結したが、福祉・介護人材の育成に関する専門性、実績及び関係団体等とのネットワークを有するか等を勘案のうえ選定しており、妥当なものであると考えている。 ○費目・用途について、額の確定時において支出等に関する書類により確認したところ、適正であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	